

<ひとこと> 広報紙、毎月コツコツ発行して祝50号!!これからもよろしくお祈りします。

いつかあなたもホームレス!?

五月二六日に開かれた松戸の中核センターほっとねつとの呼びかけで、タイトルに惹かれ参加。

『ホームレス家のない人たち』は松戸市が行った調査では八十人を越えるとのこと。

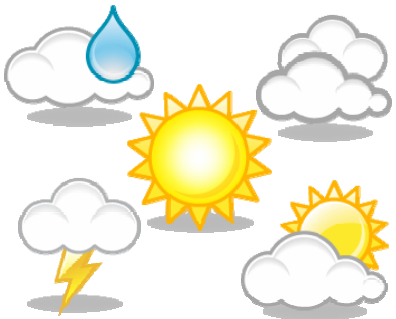
松戸市と市川市の対策状況を表にした資料の説明で、市川にはガンバの会というホームレス自立支援のNPOがあり、市との連携で自立支援住宅への入居や結核検診など市独自の支援事業が行われていることが大きい。ガンバの会の方から「昨日訪ねて話した人が今日亡くなったということがある、悔やまれてならないが、それが事実であり、命の問題なんです。今までは二十人の方が亡くなっています。松戸ではどうですか?」「まずは現場に行くこと、話を聞くことが一番ですよ」との発言に、何が出来るか不安げな参加者が一斉にうなづく場面。

二十人ほどの参加者からは「まずは現状を調べたほうが」「他で行われている活動を知りたい」と、まずは知ることからという意見も出た中で、それぞれの主義や主張はいろいろでも、こういった支援なら一緒にできるといふものから始めようという提案があり、次回を決めて終了。

今回は、一致できる具体的な活動は?といった話が中心となるのだろう。

参加しながら、ホームレスの人は柏では何人くらいなのか?人数はともかく駅や公園でみかけているよね、毎朝近くの公園に通ってくるあの人は?柏の対策状況は?何らか動いている団体はあるのだろうか?など、とりあえずそんなことが浮かぶ。

あいネットへのホームレス本人からの相談は2件、このまま行けば家を失いかねない相談の方は結構多く、多少ホームレス対策(予防)になっていくのか?足りているわけがないよね!債務や経済的困窮があり、その背景にはいろいろな障害・病気という要因があることも多いことは見えてくるけれど、だれか一緒に考えてくれる人がいないかなあと人頼みでいきます!



平成20年度

特別支援学校 特別支援コーディネーター連絡協議会

(5月8日)午後からのグループ別協議に参加しました。それぞれの地区ごとのわかれ、特別支援校のコーディネーター、巡回サポーター、巡回指導員の方々と話をしました。各特別支援校によって内容に特色があり、校内の支援が多いところや、特別支援校卒業生からの相談が増えているところもありました。

巡回サポーターの活動内容としては、学校からの依頼があり、調整役として関わることが多いとのこと。

巡回指導員の業務内容は今までよくわかっていなくて、今回お話を聞いて勉強になりました。学校からの依頼があり、派遣期間は2週間で、個別計画作成の支援等をしているとのこと、当初は3年間の限定の支援だったが延長されている状況で、学校に入ることによって学校の先生の意識が変わってきている、今年から幼稚園も行くことになったとのこと。

いい部分は気づきの目を入れることができている、難しいのは、継続的な支援ができないところと話していました。

連携という部分でまだまだ難しい部分があるということ、お互いの機能を知っていないために、有効活用ができないということも学びました。

地域でリレート〜ク



小学校2年生になる娘が最近『ヤゴ』を学校から持って帰ってきました。小学校のプール清掃の前に、プールに住み着いた『ヤゴ』を救出して持ち帰り、トンボになるまで飼います。という学校の企画です。

虫嫌いな妻と娘、私が帰宅するなり「ヤゴさんはそこ、よろしくね」ヤゴなんて飼ったことのない私、餌はどうするんだ?急に突きつけられた課題にどうしてよやら…。娘に相談したところ、明日ヤゴに詳しい大学院生が学校に来ていろいろ教えてくれるとのこと。飼いは私が相談してやるから心配しないでという娘。ほーそれはいい。なかなか行き届いたサービスだね。良く聞いてきてくれと頼んで「ヤゴ」さん

ヤゴさんはそこ、よろしくね。



そのまま放置することにした。翌日帰宅してすぐ、娘に「大学院生はどうして帰っていった?」と尋ねたところ。何を言っていたかわかんないとの答え…。困ったでしょう。悩んでいる私と娘に妻が「餌のイトミミズは釣具の上州屋、水はカルキ抜きしたものじゃないとダメ、孵化しそうになったら割り箸を立てかけてね」矢継ぎ早に説明してくれます。ずいぶん詳しいねと尋ねる私に「○○ちゃんのママと○○ちゃんのママに聞いたの」ママ友の情報ネットワークの的確で敏感なこと。まったく脱帽です。

流山市心身障害者福祉作業所さつき園

施設長 小金丸 孝裕



おしゃべり会

■お問い合わせは、塩原、青柳まで
04-7165-8707(あいネット)

来月号でカラオケの報告をする予定です。

今月は、六月八日(日)にカラオケに行く予定です。私はノンアルコールでのカラオケは苦手です。参加者から「カラオケは1曲目がポイントだよ」とアドバイスをもらいました。

現在十名前後の方が参加しています。これまで各関係機関の方にお声をかけていただきましたが、今は、さすがに(きゅうりがばば)という方針に変えましたら、有難いことになり、若者が、自然に集まってくるようになります。

今後の予定

- 平成20年6月8日(日) カラオケ
- 7月13日(日) あいネットにておしゃべり (8月以降の予定を話し合います)
- 8月10日(日) 未定

今月の一句

笑うたび
目じり気になり
ばやきでる

涼風



(みなさまからの投稿募集しています)



①時間

時間	なし	身体		知的	発達	精神	高次脳	知的障がいと「重複」			合計
		肢体	視聴覚					精神	身体	高次脳	
22:00~6:00	5	3	0	0	0	3	0	9	0	0	20
6:00~9:00	1	0	0	6	0	33	1	0	1	0	42
9:00~18:00	83	72	38	102	8	166	1	41	40	4	555
18:00~22:00	2	3	0	15	0	32	0	41	15	0	108
小計	91	78	38	123	8	234	2	91	56	4	725
合計	91	116		123	8	234	2	151			725

④年齢

年齢	なし	身体		知的	発達	精神	高次脳	知的障がいと「重複」			合計
		肢体	視聴覚					精神	身体	高次脳	
~17歳	14	14	0	17	0	0	0	0	56	4	105
18~39歳	12	13	0	94	8	146	0	91	0	0	364
40~64歳	25	41	7	11	0	85	2	0	0	0	171
65歳~	31	10	31	1	0	2	0	0	0	0	75
不明	9	0	0	0	0	1	0	0	0	0	10
小計	91	78	38	123	8	234	2	91	56	4	725
合計	91	116		123	8	234	2	151			725

「じんけん」ぼん(2008.05/NO.49)

左図は、相談実績表の抜粋です。ここでは、延べ件数を掲載しています。
相談者の実数は「101」件です。時間帯、年齢の項目の他に、「住所地」「手段」「権利侵害」「支援会議」「相談内容」「相談経路」「新規相談」と分けて、集計を行っています。
「(相談)内容」については、経済的困窮・医療・住まい・引きこもり...などに分けて、

平成20年4月あいネット実績報告

上位3つを記録しています。(ですので、延べ件数とは必ずしも一致しません)
その中で、福祉サービス・家族調整が多く、引きこもりが続きました。
新規相談は、「三十一」件でした。



引っ越ししました

先月号の「じんけん」ぼんを見て、「うちをもっと前に引っ越しをしていたのに、取材がないけど。いいんだ、いいんだ(笑)」と...ごめんなさい、牧野さん。今後もなにとぞよろしくお願い致します。



流山市東深井

流山市東深井688-63

◆障がい児(者)の生活エンターテイメントサービス
「まきのんち」 でんわ/FAX 04(7155)7261
携帯 090(9152)1424

HP: <http://space.geocities.jp/makinonnti>

おしらせ

◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(04-7165-8707)までご連絡ください◇

講演名	日時	場所	費用	申込み	問合せ先他
◆ 第6回 i工房チャリティーコンサート BELL ' Z III [BELL ' Z プロフィール] '02年12月市立柏高吹奏学部OB、OGを中心に結成。	6月15日(日) 13:30~ (13:00開場)	けやきプラザ ふれあいホール (我孫子駅南口イト ーヨーカードー前)	前売り 1,000円 当日券 1,100円		主催・チケット購入 NPO法人i&i 地域活動支援センターi工房 でんわ/FAX 04(7139)1153 (受付 9:00~17:00)
◆ 障害者自立支援法の見直しを 求める千葉フォーラム 一障害者自立支援法で私たちの自立は どこまで実現されたのか?~ ・リレートーク「私たちのくらしは今!」 ・シンポジウム	6月15日(日) 13:30~ (13:00開場)	千葉市民会館 小ホール (JR千葉駅から 7分) ※手話通訳、 要約筆記あり	300円 (資料代)	不要	障害者の生活と権利を守る千葉県連絡協議会 (障千連) でんわ/FAX 043(308)6621 メール shochiren@bf.wakwak.com 主催 障害者自立支援法の見直しを求める 千葉フォーラム実行委員会
◆ 千葉大学予防医学センター 第1回市民講座 テーマ『予防医学センターのご紹介』	6月19日(木) 13:30~ (13:00開場)	柏の葉キャンパス シティ・アーバンデザ インセンター (UDCK)	無料	不要 先着順 100名	予防医学センター でんわ/FAX 043(226)2531
◆ 高次脳機能障害の勉強会 高次脳機能障害 ~その実情と対応を学ぶ~ 講師:心理発達治療士 太田令子氏 (千葉リハビリテーションセンター地域 連携部長 高次脳機能障害支援コーデ イナー)	6月22日(日) 13:30 ~15:30	松戸市健康福祉会館 ふれあい 22 3階 ホール (松戸市五香 3-7-1 新京成 五香駅徒歩 13分、八柱駅よりバ スあり)	無料	不要 先着 150名	主催 東葛菜の花 「高次脳機能障害者と家族の会」 世話人 ないき でんわ/FAX 047(369)0182 メール chizuko@home.email.ne.jp 柏市地域生活支援センターあいネット でんわ 04(7165)8707 FAX 04(7165)8709